

高校生有望選手リスト

山口	早稲	捕手	白 内之倉雄輝	3年	167	67	右	△	身体能力抜群。将来的には外野手としてフィニッシュするのだが、捕手を諦めるのは惜しい
徳島	池田	投手	白 川 惠翔	3年	179	85	右	△	ジャバットスローで中学全国1位。ケガなど体質を克服し最速140キロが空ぶたけに
	徳島科学技術	投手	近藤 駿	3年	180	86	右	△	投球は申し分ない最速140キロ右腕。ケガを克服し高校球技が上を狙う課題
	徳島北	投手	河野 勇真	2年	174	70	右	△	四国2年生最速の140キロ右腕。効率的フォーム追究できれば最速学年では145キロ以上も
	徳島南	投手	村田 龍哉	3年	178	83	右	△	最速140キロの投手以上に、外国人に負けない豪快スイングと内外野を渡る汎用性力
	高松	投手	浮橋 幸	3年	175	77	左	△	21世紀枠甲子園初出場に導いた「二刀流」。最速140キロと高校通算15本塁打で巧みさ
	鳴門	左翼手	木村 博	3年	171	75	左	△	1年時から名門の中心。軸回転の鋭さで高校通算20本塁打に迫る長打を打てる運動能力
	鳴門渦潮	遊撃手	有持 泰成	3年	177	74	右	△	チームではエースも、四国屈指では遊撃手で高評価。打球反応の速さと堅実な打撃が味
香川	英明	投手	黒河 竜司	3年	180	85	右	○	143キロの最速より130キロ後半ツーシームに切れ味。ストロークのアベレージ向上が課題
	三本松	投手	上杉 綏聖	3年	168	66	右	△	最速141キロ叩き出すフィジカルポテンシャルは高い。春以降は一定の打球対策を修正
	尽誠学園	捕手	水尾 斗摩	3年	185	87	右	△	昨年12月の四国選抜ではベスト11 9月の三選抜選手でトリード。チームで同レベルを
	高松南	投手	塚川 卓摩	3年	165	62	左	△	体格をカバーする効率性追究とクレバー配球でセバツズの飛躍を期する最速141キロ左腕
		中堅手	香塚 公晴	3年	172	71	右	△	最速140キロスローストと自在カッボールが軸。大叔父は元大卒の名選手・中塚政孝
		中堅手	飛倉 葵汰	3年	167	61	右	△	一塁打明けが3秒53。高校通算本塁打10と長打力に矢張りけるが、走攻守に全てに高い能
	津田	投手	サシバタマシロ	3年	178	68	左	△	力がバスターマンの最速138キロ右腕。加速度を増すと走塁と磨きだせる安打打撃が
	藤井学園聖川	投手	加茂 優太	3年	171	70	右	△	弾力性のあるフォームから四国3年生最速147キロ。本が目指す高背の打入り番が勝負
愛媛	今治西	投手	村上 晃典	3年	171	63	左	△	50メートル走5秒9の俊足。最速140キロ左腕を活かし、将来的には外野手で見たい素
	清美	捕手	芦谷 泰雅	3年	170	76	右	△	昨夏甲子園ベスト4に3番・女房役で貢献。スロウイングの瞬発性が付けば上も狙える
	高カリナ理工	投手	田中 秋雄	3年	178	83	右	△	力を入れた打球は最速140キロスローストに重なりあふ。関節柔軟性増せばと速球伸び
		二塁手	浪花鈴太郎	3年	179	68	右	△	二遊間の打球を捕捌けて内野手でも流れる俊足。打撃面もセンター中心に返す鋭い質
	新田	中堅手	大村 球太	3年	176	72	右	△	野手の方向もよく守り回復。内野手でも押せる俊足。春にはスピードスターを驚か
	松山聖陵	一塁手	大村 侑希	3年	185	85	右	△	泳ぎながらもレフトボール懸へ運べるスケール感。苦手な守備も足を動かし打撃へかせ
高知	岡豊	投手	横井 峻人	3年	171	67	右	△	四国選抜でオールスター選抜では右巻の8インチ17重3センチ。一流大学でも実戦取りま
	高知	三塁手	西村 洋生	3年	171	73	左	△	四国選抜でオールスター選抜の自在な守備。守備が上げられ一流大学以上を狙
	明徳義塾	投手	服部 遼馬	3年	175	68	左	△	バランよく投げられる努力型左腕。連続しないでの安定性は利卓(摩高松南)もし
		捕手	安田 隆	3年	179	80	右	△	腰痛などに悩まされ続けた昨秋。捕手守るコンバトも視野に投入し、豪打復活を期
		中堅手	古澤 惲大	3年	170	73	右	△	スイッチヒッターに一時チャレンジ。明徳義塾の伝統継(走攻守に際のない)中堅
福岡	春日	投手	坂元 創	3年	186	85	右	△	大型故にへを感じさせない体のキレと上での運動。制球力向上で投球が楽しくな
	九州国際大付	投手	下村 海翔	3年	174	70	右	△	ナゴヤのように空も味のスタイルと140キロ超の速球は野性化族群。実戦の強さ
		中堅手	葛城 陸	3年	180	75	右	△	大舞台ほど構え力を見せつける。「外野の間はいつでも抜ける」というオーラが充
	真翼館	中堅手	松尾 聖成	3年	178	80	右	△	外野からレーザービームにビクッなほど投手兼任が。ガッツと弾に打ち込ま
	筑陽学園	投手	西郷 昂矢	3年	187	83	右	△	初めに鋭い球を連打り球優勢を築いた144キロ直球。チェンジアップの打撃具合も
		遊撃手	中村 昉晴	2年	183	68	右	△	体の線が細い素材の中材も自らを引く遊撃での立ちま。満ち満ち振り切ら
	東筑	一塁手	久田 秀博	3年	180	79	右	△	背筋の強さを感じさせるフォローストの大きさ。浪浪に満ちたマシン振りに夢を
	西日本短大付	捕手	神宮 隆太	3年	180	85	右	△	左の大砲。捕手の足さばき、送球も向上しドラフト候補に恥じないスケール感
		遊撃手	近藤 大樹	3年	168	70	右	△	堅実な守備力と決死の野手を一撃で仕留める打撃センス。クレバーさもある実戦向
	福大彦	投手	星野恒太郎	3年	177	80	右	△	重要な生投ぎでもしも基礎能力の高さは随一。本調子なら力で押してい
佐賀	佐賀南	二塁手	小島 優仁	3年	174	70	右	△	グラブさばき、足運びが巧みで身のこなしに惚れられる。清木龍雄との二遊間は
		遊撃手	清木 龍輝	3年	174	68	右	△	1年夏から遊撃手を張るだけあって、とっさの動きと安定感。後輩に野田匠とい
	東明館	投手	川口 剛輝	3年	182	67	左	△	昨春の九州大会は130キロ台後半の引投を見せる観客が「えっ2年か」。期待
		中堅手	寺崎 拓真	3年	177	75	左	△	スピード感で打ち分け打撃は昨年優勝に貢献。どこへ何をやってもし目立つ一
長崎	海星	捕手	太田 勇真	3年	183	83	右	△	痛烈な打撃を放ったかと思えば鮮やかに直打を打てる。守備力向上があれば
	創成館	一塁手	深見 直人	3年	176	100	右	△	脱得十分のフルスイング。球場の広さや風向きに関係なく圧倒的飛距離でスタン
	長崎山崎南	投手	磯木蒼太朗	2年	177	72	右	△	秋の九州大会では敗戦後も5回13回と貢貢。スピンの利いたストレートが密な
熊本	有明	投手	浅井 将大	3年	181	81	右	△	地区最高評価。直球は常時138～140キロ超。100キロ超のチェンジアップを
	大津	投手	生田博一郎	3年	178	80	右	△	ググッと打者に迫ってくるようなストレートがさくさく。県内屈指の素材
	九州学院	遊撃手	川野 湧多	3年	178	73	右	○	守備の名手がこきまて打撃技術に向上気配。守備範囲の広さだけなら世
		中堅手	川島 希	2年	177	75	右	○	駆けけるのにスピードを増すダイナミックなプレー。打席でもマッシュ
	熊本工	中堅手	内田 雄大	3年	178	75	左	△	思い切りのいいスイングから外野最深くへガシヤン。天才引の二塁手・田中亮
大分	大分南	投手	江川 佑斗	3年	178	75	右	△	エシエ切日本代表の4番打者で投手の上りも最大限に引き出し
	大分南	投手	川瀬 俊斗	2年	181	78	右	○	兄・川瀬真一(上)を回る充実の身体スペック。パワープレーで押せる
	日本文理大付	投手	翁長 健斗	3年	177	70	右	△	カッパ気味に打者に近いポイントで切れ味を増すスライダーには将来性
		中堅手	東門 寿哉	3年	178	70	左	△	スイングの強さ、打球の生命力、広い守備範囲をカバーする
	明豊	投手	狹間 達	2年	183	65	右	△	有望な後継候補も、将来性もなタテになかればなるこの投手。これ
		捕手	大嶋 大輝	2年	177	77	右	△	中学時代にシニア九州選抜でエースを張った本橋。甲子園での140
			若杉 晟汰	2年	170	65	左	○	低身長ながら放たれる全球種のキレは鹿実時代の野田具吾(上)を
宮崎	小林西	投手	鶴田幸人	3年	178	68	右	△	全球種が構えたミットに吸い込まれるような高品質。秋の九州王者を相手に
	富島	捕手	黒手 善道	3年	168	71	左	△	二塁投球1.8秒のキャッチャー。特筆すべきは足のさばり。身体
		遊撃手	平松 佑星	3年	171	65	右	△	しなやかなボディでなしと速投110mの強腕。スイングに鋭さと引き
	日章学園	中堅手	井浦 大和	3年	177	80	右	△	通算18発のバチに加入する目の印象を覆す50m5.8秒の快足。三
	都城東	投手	武藤 敦貴	3年	177	71	左	△	「通達な荒れ」で迫りくる130キロ後半のストレートは驚異。打者
	宮崎第一	投手	川島 隆志	3年	177	70	左	△	ゆっくとし流石のフォームから一転、リリースさせた鋭い力感が
	鹿児島	投手	小峯 新隼	3年	188	83	右	△	マウンドに立っただけ迫る力。150キロ超をすでに押し出し
		中堅手	神里 啓斗	3年	176	75	右	△	一塁到達3秒台が当たり前。とにかく足で目立つが、佐々木
	鹿児島中央	捕手	新有留保斗	3年	176	78	右	△	昨春の日本負傷後、左手で短いバットを振る練習に
	神村学園	投手	中川 武海	2年	174	74	右	△	鋭い右手で投げ込む投球スライダーに力強さ。さらに本人
沖縄	沖縄水産	投手	国吉 吹	3年	177	74	右	△	初の神降神降スライダーデビュー。140キロ超の高め直球と
	北山	投手	金城 流汰	3年	187	80	右	△	スケールとダイナミックさから「イライカ」かと思いが
	興南	投手	宮城 大弥	3年	173	70	左	△	対戦した打者の証言がすべてを物語る。「下めのボール
		三塁手	西里 翼	2年	176	68	右	△	昨夏の甲子園で5安打デビュー。センターから右
		遊撃手	勝達 大橋	3年	174	65	左	△	昨夏の甲子園では2試合で8打数5安打。引

※このリストはP.192から始まります。